

(様式第 9 号)

高槻市立第四中学校区 学校運営協議会 会議録

令和 7 年 1 1 月 2 8 日作成

会議の名称	令和 7 年度 第 2 回第四中学校区 学校運営協議会		
会議の開催日時	令和 7 年 1 1 月 2 8 日 (金) 1 8 : 0 0 ~ 1 9 : 3 0		
会議の開催場所	高槻市立第四中学校 多目的室	公開の可否	可
担当課	教育指導課 教育総務課	傍聴者数	3 人
非公開の理由 (非公開(会議の一部非公開を含む)の場合)			
出席委員	赤木 瑞枝 東 平八郎 橘川 美恵子 吉良 摩美 新谷 龍太郎 廣川 靖子 福井 勇		
事務局出席者	(第四中) 岡田 由紀 畑 智貴 山口 千恵 錢谷 恭兵 木村 千愛 (富田小) 下西 靖志 片山 和人 山田 裕太 正木 恵 宮本 千佳 (赤大路小) 栗原 綾 和田 博之 難波 美津江 森 真智子 米一 陽平 井出 さやか		
会議の議題	1. 開会あいさつ 2. 委員・学校出席者自己紹介 3. 議案(第四中学校区グランドデザインにおける今年度の重点取組みについて) 4. 次回の学校運営協議会について 5. その他・今後の予定など 6. 閉会のあいさつ		
配付資料	資料 1 第四中学校区グランドデザイン 資料 2 第四中学校区地域公開研案内 資料 3 第四中学校区地域公開研リーフレット 資料 4 第四中学校区取組み説明スライド		
審議等の内容	・第四中学校区グランドデザインにおける今年度の重点取組みについて		

(別紙)

令和7年度 第2回 高槻市立第四中学校区 学校運営協議会 会議録

議事日程 1. 開会あいさつ 2. 委員・学校出席者自己紹介 3. 議案：第四中学校区グランドデザインにおける今年度の重点取組について 4. 次回の学校運営協議会について 5. その他・今後の予定など 6. 閉会のあいさつ (18時00分開会)	
学校	<u>会長より開会宣言</u> <u>学校長より挨拶</u> <u>出席予定人数を確認し、会議成立</u> <u>各委員・教職員・保護者代表・幼保施設関係者より順に自己紹介。</u> <u>傍聴者の確認。</u> <u>学校の取組み紹介（パワーポイントを用いて説明）</u> （1）授業改善の取組 学校区では「今の課題に向き合い、未来をより良く生きる子ども」を目標に、以下6つの切り口で授業改善を推進している。 ・解きたくなる問い ・学習形態の工夫 ・板書の工夫 ・既習事項の活用 ・仲間との協働 ・達成感のある活動 研究事業に向けて校区の教職員が集まり指導案の練り上げを行うのは本校区独特の取り組みである。 ★各校の主な研究授業 中学校：8年生（中2）国語・9年生（中3）英語で子どもたちの意欲を高めるために達成感や仲間との協働学習を重視した授業を行った。 赤大路小学校：5年生国語科で子どもたちの学ぶ意欲を高めるために学習形態の工夫し、辞書活用して語彙の獲得・個人読書・対話を組み合わせ、読解の深まりを促す授業を行った。 富田小学校：1年生道徳：自分事として考えられる問いと仲間との協働を通しての対話を中心に構成している。 小中合同の研究授業、校区内での指導案検討会を継続実施。 12月3日（水）：地域公開研究発表会の案内を広く市内外に発信している。 （2）生活科・総合的な学習「いまとみらい」の取り組み 問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度をはぐくむ取組

	を進めている。 学習サイクル（SRPDCA）を回して活用し、この学習サイクルを回しながら、自分の課題を自分事として置きかえるようにしている。 S：スタンディング 課題と自分の関係を見つめ、意欲を喚起 R：リサーチ 多様な情報収集（インタビュー、地域、家庭） P：プラン 解決計画 D：ドゥー 活動実践（目的意識を保持） C：チェック 振り返り A：アクション 自分の生活への応用 各校の取り組み例 小学校低学年：自然体験・校区探検・栽培など生活科中心に実施。 小学校中学年：社会科と連携、身近な地域課題を考える学習をし参画する。 小学校高学年：さらに社会に視野を広げ、社会の一員として、主体性を持ち行動する取り組みを進める。平和や居場所づくりなど、社会参画につながる課題に挑戦。 中学校：地域調査（地域の方々からの聞き取り学習）、職場体験（地域の事業所など）、学年を越えて三学年での交流、社会課題探究などを実施。 2校の小学校の連携（名刺交換・遊び交流・運動会の演技の披露会・合同学習の実施・教職員同士も年3回小小学年会） 平和学習について 小中3校合同での「平和の集い」を7月18日に実施。 6年生は合同で戦争体験者からの講話。 6年生は1月29日に中学校体験を予定している。その日だけのクラス・担任（小学校の担任）で過ごす。 自己紹介、授業体験（中学校の先生）、いまとみらいについての学びを交流。 午後からは中学生の考えた中学生生活の説明、放課後には部活動の見学。 一日を通して中学校生活を体験できるのは市内でも例を見ないこの第四中学校校区の独自の取り組みである。 認定こども園や保育所など就学前施設との交流の機会も設けている。 小学校1年生と就学前施設の交流や中学生との交流の機会もある。 小学校1年生の小小学年会には富田認定こども園、北昭和台保育園の職員が年に2回参加している。 事前に一年生の授業参観を行い、授業を通しての気づきや子どもの様子を交流し小学校での子供理解に役立てる。今年度は就学前の子どもたちの様子を見てみたいという小学校側の思いから就学前施設への見学も行う。 （3）安全教育の推進 内容：ゆめみらい児童生徒協議会について 安心安全な学校生活を送れるように、中学校では昼休みを活用したレクリエーションを計画し実施する予定としている。 小学校では自習室を開き高学年が低学年に学習を教える取り組みを企画している。 心の安全を育む教育。（メディアリテラシー・噂話や偏見を扱う教材） 災害（火災・地震・不審者）を想定した避難訓練。 教職員向けの危機対応研修。 人権学習：世の中にある社会課題に教材を通して出会い、自分事として考え、人権感覚の育成を進めている。
--	--

	マイクロアグレッションの学習。 教職員の人権研修。（大学教授・専門家を招いた研修を実施） 3つの重点課題に対しての様々な取り組みを進めた結果、児童生徒にどのような変容があったかをアンケートを用いて検証しているところ。 <u>質疑応答</u> （１）就学前の施設との交流の取り組みについて
委員	「就学前の施設との交流の取り組みについてより詳しく知りたい。」
学校	「夏の遊びで交流を行った。特に意図的にグループは作らずに就学前の子どもたちがやってみたいことを一年生が見ながら自然とルールを伝えていたり優しく関わっていた。その前には先生同士で打ち合わせを行いその後は振り返りも行った。」 （２）平和学習・小中連携について
委員	「平和の集いでは、子どもたちの発表により大人たちが学びなおせる良い機会であった。その一方、発表形式の違いなどがあり校区としての連携が見えづらい。」
学校	「テーマ設定・子ども発案を尊重しながら各校が連携している旨説明した。発表の仕方は揃えなかったが、歌を歌おう、修学旅行で学んだことを伝えようというところを連携。戦争の写真を展示したいという意見もありピース大阪で借りられることも調べ当日掲示をした。」
委員	「テーマを軸に、自分たちはどう考えるか、何を一緒にしたいかなど子どもたちの中から挙がってくる意見をくみ取るのはすごく時間がかかると思うがそこを丁寧にされている。そういう意味でつながりが深まっているのでは。」
	（３）平和について考えている小中学校の取り組みを受けて
委員	「平和について考えるということを小学校中学校でされているので、就学前の子どもたちが平和ということをどんな風に捉えるのだろうかということの違いで違う視点で取り組みをした。就学前の子どもたち自身というより、親（保護者）を巻き込んでどんなふうに平和を意識していくかということ夏休みの間に平和について考えていただけませんかという宿題を出した。難しいことでなく子どもと一緒に笑い合っているときにこういう時間ってとても幸せなのだなと意識することが大事ではないかというお話をした。」
学校	「０歳からの「平和」への取り組みの関わりを家庭に広げる取組みを紹介。例：夏休みの家庭宿題。（家族の幸せを見つける活動 スーパーで好きなお菓子を選べるというのは幸せであり平和であるなど）大人の意識を繋げていくのはとても大事である。保護者の理解が深まりこの校区の就学前施設も含め縦断的連携が生まれている。」 （４）運動会について・コミュニティスクール（CS）の周知について
	運動会について
委員	「運動会を見て、情操教育が結構できていると感じた。」
委員	「体育祭受付のボランティアをコミュニティスクールで協議して募った際、保護者

	がCSの意味を理解していなかったと感じる。」
学校	「周知の不足を課題として共有し、今後CSについて地域に幅広く発信していきたい。」 (5) 「いまとみらい」の授業についての意見
委員	「保護者が授業に参画できる点が好評。家庭での会話が増え、学びが生活に広がっている。地域清掃や企業との連携授業も評価が高い。自分の住んでいる街をきれいにする地域清掃の取り組みは、グランドデザインで掲げている「自分の街が好きといえる子どもの育成」になっているのではないか。」
委員	「先日中学校で地域の人や保護者参加ができる取り組みがあったにもかかわらずCSを上手に利用されていない。委員としても知らなかった、そして周りにも知らない方が多かった。学校とかかわりを持ちやすい保護者には情報が回るのかもしれないが、地域の人までまだまだ情報が来ていない。地域の人には見えにくい。もったいない。周知の仕方を考えていかないといけない。例えば自治会に協力してもらうなど。委員として知らされていないので広めていいのかも躊躇した。取り組みがよかったので余計残念に思う。」
学校	「今後、周知の仕方について改善していきたい。」 (6) ゆめみらい児童生徒協議会について
委員	「ゆめみらい児童生徒協議会について詳しく教えてほしい。」
学校	「地域の温度計をあげようということで3校力を合わせるために会議を重ねて、テーマを決め考え実行している。「煌星心結」一人ひとりが輝けるにはどうしたらいいか?というテーマのもと、中学では午後フェス（特技等を発表）を実施。小学校は中学校で実践していた自習室を実施する。異学年間の交流をすることで安心安全が得られると考えています。」 (7) コミュニティスクールがスタートして
委員	「コミュニティスクールがスタートしたことで大変になった部分、活性化した部分などあるのか。」
学校	「もともと3校で小中一貫教育をやっていたので会議が全体的に増えたということはないがこの学校運営協議会をする上で一部担当の職員が会議に向けての準備の打ち合わせは増えていた。今日はいろいろな意見が出て改めて見直すいい機会になった。」
委員	「今回学校運営協議会の委員になり会議に出席することで得た、さまざまな立場の人がいる委員の意見を園の方にも持ち帰りたいと思っている。保護者をどう巻き込んでいくのか、保護者はもっと入りたいと思っている。地域の人の中に入りたいと思っているというのを感じた。保護者は自分の子どもだけでなく周りの子どもたちもみんなで一緒に育む一員なのだという意見もあったため、運動会では保護者と子どもたちが交じり合える種目も入れた。親も一緒に楽しめる運動会だったと好評の声を多数いただいた。園はセキュリティの関係でなかなか地域の人にどんどん来てくださいというのは難しい部分はあるが、この会議でヒントになったこと

